



## 地理学演習のテーマ

「駒澤VOICE」(2007年版)に掲載された地理学演習のテーマです。

卒業論文の指導教員を選択する際の参考にしてください。

### (地域文化研究専攻)

**小田 匡保 歴史と文化を地理的に考える**

地理学は問口の広い学問です。歴史や文化、宗教までも研究対象にすることができます。歴史や文化を、空間や地域差の視点から考えてみましょう。この科目では、そのような関心をもつ学生が集まって、卒業論文作成の中間報告をします。

**櫻井 明久 農村地域の地理**

地方都市、田舎町を含む農村地域に見られる景色(景観)や様々な現象を、他の地域と比較するなどして、そこにそれが見られる理由を考え、討論します。新しい時代の農村像を考えましょう。また、ヨーロッパや高校・中学の地理教育について考える人もいていいでしょう。

**佐藤 哲夫 熱帯の風土と生活**

東南アジアや南アジアなどをフィールドにして、地域の文化や社会と自然との関係について考えます。森林や農村の土地利用、都市の街並みなどに注目し、どんな環境の下で、どんな歴史を経て、現在の姿が選択されたのか考察します。地図や衛星画像を利用して、地域の特色をつかむ技術についても学びます。

**土谷 敏治 都市と交通について考える**

私たちは、毎日自宅と学校や会社の間を往復しています。電話をかけたり、買い物に出かけたりします。これは地域と地域がお互いに依存しあい、結びつきあっているからです。このような現象を都市の構造や都市のシステム、交通体系、公共交通の必要性などを通じて研究していきます。

**橋詰 直道 都市と生活環境の研究**

都市の文化や生活環境に関する研究を行っています。2005年度にはその成果として、道路沿いの野外広告物、Y字路の地理学、三軒茶屋の下町イメージ、生産緑地と営農意識、武蔵野市の保存樹木、小布施町のオープンガーデン、農業公園の利用、棚田オーナー制度などのテーマで卒業論文が作成されました。

**須山 聡 地域・産業・景観**

産業は経済的な存在と見なされ、経済の論理で語られることが多い。しかし産業は地域を構成する重要な要素であり、地域の性格を強く反映する。地理学がもっとも得意とする景観の分析を導入することで、地域と産業の考えを問い直してゆきたい。産業景観には、地域の特徴を読み解く鍵が隠されている。

**高橋 健太郎 中国と日本の農山村**

農山村地域には、食料生産だけではなく環境保全やレクリエーションなどの場としての重要な役割があります。中国では貧しい農村と豊かな都市との間の格差が拡大しています。日本の農山村では少子高齢化と産業空洞化が進んでいます。本演習では、このような農山村地域の特長と変化、人々の取り組みを研究します。

### (地域環境研究専攻)

**高木 正博 川を考える**

最近、川に自然が少しづつ戻ってきたようです。川に関心を寄せる学生も増えてきました。しかし、川にはまだ流量・水質・開発・治水などに関する多くの問題があります。これら自然と人間に関わる問題の所在を、流域全体に目を据えて調査研究しています。

**長沼 信夫 水の地理学とその環境**

3年次の演習では、水の地理学に関連する文献紹介や輪読を中心に行う。4年次の演習では、卒業論文に関する研究成果の報告や討論などを中心に少人数制で行う。卒論の主要テーマは水の環境と人々の関わりや水にまつわる今日的諸問題などである。

**早船 元峰 自然と人間の関わりあい**

前半は卒業論文の作成・現地調査・文献資料の収集整理・写真撮影などの方法について講じ、後半は各人に卒業論文に関連した文献の内容の紹介や、調査研究した成果の発表をしてもらいます。テーマは、土地利用・グリーンツーリズム・ビオトープなどです。

**江口 卓 気候から地域環境を考える**

気候には、スケールを異にする様々な地域差が認められます。そのような気候の地域差がどのようにして生み出されるかをまず明らかにします。さらに、それをもとに気候が他の自然環境や人文社会環境とどのように関わっているのかについて調べ、地域環境について考えていきます。

**平井 幸弘 水辺の環境問題**

自然地理学とくに地形学の視点から、河川、湖、海岸での様々な環境問題について、低地や沿岸域の地形を分類し地形の成り立ちを考え、問題の解決策を探る研究を行っています。最近では、国内各地で始まった「自然再生事業」や、東南アジアにおける「地球温暖化・海面上昇」の影響予測に取り組んでいます。